

NPO法人 広島県生活安全防犯協会 の活動



NPO法人 広島県生活安全防犯協会 理事長 奥田 耕造

あけましておめでとうございます。昨年は私共業界もリーマンショック等で大変な年でしたが、今年は協会全員で英知を出し合ってより良い年になるように頑張る所存です。又皆様方と意見交換等を積極的に行い実りある年に邁進したいと思います。

さて私共の結成経緯ですが、昭和56年8月広島県警察本部防犯課（当時）の要請により、防犯機器の製造、販売、施工等に関わる企業22社が県警本部会議室に集合し、県警から前年の昭和55年4月に発足した優良防犯機器認定制度（昭和55年国家公安委員会告示第3号）についての詳細な説明が有り、優良防犯機器の普及促進による“犯罪のない明るい市域社会”の実現は、防犯関連業者の認識と積極的な活動が必要不可欠であり、その為防犯関連業者による活動団体を結成してはどうかとの意向が示されました。

その結果“広島県防犯機器業防犯協会”を昭和56年10月5日設立致しました。この頃から年々事件が増え続け、内容的にも凶悪、粗暴化し金融機関、スーパー等を狙う強盗事件が多発、また殺人事件等も発生し、21世紀は“セキュリティの時代”とまで言われるように、自主防犯、自主警備が不可欠な時代に突入しました。

それに伴い当協会では、平成7年全国で初めて“安全推進隊”を結成し、如何に安全で安価な防犯機器の提供が可能か研究を行なっています。また県内8ブロックにわけ、地域ごとの事件の特殊性等を研究し、当局からの情報を基に防犯設備の必要性を訴え続けるボランティア活動を推進しています。平成11年7月広島県知事にNPO法人の認定申請を行ない認証され、広島県防犯機器業防犯協会を“NPO法人 広島県生活安全防犯協会”として広島法務局に法人登記を行ないました。

平成16年新理事長に、梅田寛之氏が着任し、NPO法人の精神に則り幅広い防犯活動の実施を行なってまいりました。

その結果、当協会の活動実績とボランティアの実績が認められ、当協会設立25周年目の、平成18年10月に警察庁長官及び全国防犯協会連合会会長の連名による「防犯功労団体」として表彰を受けました。

これを機に尚一層協会会員が一致団結して“犯罪のない明るい地域社会づくり”の実現を目指し、現在75社の協会員が活動を続けています。

当協会の基本方針ですが、

*広島県民に当協会のホームページを通じて、県警から提供された防犯対策や、防犯機器に関する情報を提供すると共に、協会員及び協会活動の紹介。



- *優良防犯機器の普及促進。
- *県警・関係機関等との連携。
- *生活安全、防犯関連の収益事業の研究等です。

又今年度事業を以下の通りです。

- *広島県内小学生所持品の防犯ブザー点検（電池交換含む）を、無償で行う。
- *過去には広島市内・福山市内等で行ったが、今年度は東広島市内の東広島市立平岩小学校（生徒数333名）で、11月20日（10:00AM～11:30AM）県警・教育委員会の協力の下でおこなう。
- *広島県自動車盗難防止連絡協議会が実施の街頭キャンペーン等に参加。
- *福山市防犯講演（地域防犯活動リーダー研修会 講師）。
- *広島県自動販売機被害防止対策連絡会 参加。
- *女性・子供アドバイザー講習会 講師。
- *生活安全防犯協会安全推進隊出動 講師・警察学校等。
- *（財）暴力追放広島県民会議 参加。
- *広島県防犯モデル駐車場認定業務。
- *その他。

来年度事業（案）としましては、

- *今年度事業の継続。
 - *また生活安全・防犯に係る収益事業の研究は、本年度末には具体的なプランが発表出来るように努力を行なっているところです。
- 以上が、私どもの近況です。今年も頑張ってまいりますので皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

